

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 城里町立七会中学校

担当教諭名 村田 まち子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年11月30日(水) 13:40 ~ 15:30
対象学年と人数	1年16名 2年20名 3年28名
派遣講師名と出身国	・タスファイエ ガライヤ (エチオピア) ・新垣 マリア (ペルー)
活動の内容	・母国語の挨拶 ・自己紹介 ・エチオピア, ペルーの紹介(国旗, 自然環境, 生活の様子, 民族衣装, 楽器, 踊り, 遊び, 菓子や飲み物など)
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	講師がいろいろな物を用意し, 丁寧に説明してくれたので, わかりやすかった。ダンスや試着・試食など体験を通して異文化を楽しみながら学ぶことができた。
生徒・保護者等参加者の感想	今までこのふたつの国についてほとんど何も知らなかったということが分かりました。エチオピアやペルーでは食文化や民族衣装などいろいろな違いがあることがわかりました。このワールドキャラバンでいろいろな話を聞いたり体験したりしたので, この二つの国は身近に感じられます。これから視野を広げて他の国々についても知りたいです。
先生の感想	・エチオピアの講師は最近放送された日本のTV番組を見せながら説明をしたり, 母国の学生が描いた絵からわかる生活や環境について参加者(中学生)に発表させたりと, 生徒の扱いが巧みでした。 ・ペルーの講師は数種類の試着用の衣装や手作りの試食用の食品, 持ってみることのできる珍しい品物をたくさん用意し自国のことについて伝えようとする熱意が伝わってきました。

